

計画事業番号	00638	事務事業名	市道排雪支援事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	760
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	-----

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市排雪事業補助金交付要綱			
事務事業開始年度	平成9年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第5章)	快適な生活環境のまち
	(第4節)	交通の充実
	(施策3)	冬期間交通の確保
2 対象	市道(生活道路)の排雪事業を実施する自治会等	
3 目的と内容	冬期間の生活環境の改善と交通確保を図るため、市街化区域内における市道の排雪を実施する自治会等を支援する。	
4 実施内容(手段)	27年度まで	市道の排雪事業を実施する自治会等が、排雪に要する費用の補助を受け事業を実施(補助内容の推移) H9～補助基準額37万円/km補助率1/3、H15～補助率1/3→1/2、H18～37万円/km→48万円/km H22～H26 48万円/km→52万円/km H27～ 52万円/km→60万円/km(増額分の8万円については市が負担する。) (実施団体数の推移) 平成18年度 48団体 平成19年度 55団体 平成20年度 56団体 平成21年度 62団体 平成22年度 63団体 平成23年度 66団体 平成24年度 65団体(団体の統合により1減) 平成25年度 65団体 平成26年度 64団体(68団体申込→4団体途中キャンセル) 平成27年度 48団体(69団体申込→21団体途中キャンセル)
	28年度	○排雪事業費の2分の1を補助(補助率) 実施予定団体:68団体 実施予定延長:132.6km

## 【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
自治会等に助成	自治会等に助成 (実施48団体)	自治会等に助成	自治会等に助成	自治会等に助成

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	冬季間の生活道路の交通を確保することにより、生活環境の向上が図られている。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			34,413	47,369	50,565	51,537
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	34,413	47,369	50,565	51,537
		① 合計	34,413	47,369	50,565	51,537
	人件費	② 人数(年間)	0.17	0.17	0.17	0.17
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	1,530	1,530	1,530	1,530
		総事業費①+④	35,943	48,899	52,095	53,067

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①排雪実施延長	目標値	130.0	132.6	135.2	137.8
		実績値	97.6			
	②補助団体数	目標値	67	67	68	69
		実績値	48			
	③生活道路総延長	目標値	213	213	213	213
		実績値	—			
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	① 排雪事業実施率	目標値	61.0	62.3	63.5	64.7
		【排雪実施延長／生活道路総延長】 実績値	45.8			
	②排雪補助導入率	目標値	61.5	61.5	62.4	63.3
		【排雪実施団体数／自治会総数市街 化区域内自治会総数 109団体】 実績値	44.0			
	③	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
<b>妥当性</b> ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	通常の市道除雪では対応できない市民から要望の強い生活道路の運搬排雪を行うことにより、冬期間のより快適な生活環境の向上を図るためには必要な事業である。
<b>達成度</b> ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	地域住民・除雪業者・市の3者がそれぞれ役割を分担して、連携・協力しながら事業を実施しており、平成9年度の事業開始以来実施団体数は年々増加していた。しかし、平成27年度の申し込み件数は当初69団体で、新規団体が1件増加したが、少雪の影響によりシーズン途中で21団体がキャンセルしたため実施率は昨年度と比べ11.6%下がった。これは、天候上の理由であり、当初では団体数が増加しているため成果は上がっている。
<b>成果向上</b> ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	排雪支援事業の未実施の町内会等に周知を図り、実施団体を増やしていく必要がある。
<b>経済性</b> ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	近年の人件費の値上りや燃料費の高騰によりコストを削減することは難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--